

1. うめきた2期のまちづくりの方針

- うめきた2期を斬新で独自性が高く、世界に強く印象付ける「大阪の顔」となる都市空間とするため、「みどり」を中心としたまちづくりを行う。
- 「うめきた2期区域」の約16haを対象に、当区域の都市計画や平成28年度以降に開発事業者を決定するために実施が予定されている「(仮称)うめきた2期区域開発事業者募集」におけるまちづくりの基本的な考え方をまとめた「まちづくりの方針」を今年度中に作成。

2期区域のまちづくりの目標

「みどり」と「イノベーション」の融合拠点

世界の人々を惹きつける比類なき魅力を備えた「みどり」

- ・ まち全体を包み込む「みどり」がここにしかない新しい都市景観を創出し、多様な活動、新しい価値を生み出す場となり、世界の人々を惹きつける。

新たな国際競争力を獲得し、世界をリードする「イノベーション」の拠点

- ・ 世界からの人材、技術を集積・交流させ、新しい産業・技術・知財を創造することで新たな国際競争力を獲得し、我が国の成長エンジンとして世界をリードする「イノベーション」の拠点となる。

～導入する都市機能～

① **新産業創出** (例: 健康・医療、環境・エネルギー等)
 成長性が高い分野で関西の産業集積の核・ホブスピタルを最大限発揮

② **国際集客・交流** (例: MICE・文化観光・商信等)
 立地・ホブスピタル、関西の豊かな都市文化、人々を惹きつける「みどり」の魅力を活かしながら、国際的な企業・産業活動等を誘致、展開

③ **知的人材育成** (例: 遠東大学・大学院、国際化教育等)
 知的集積により世界をリードするグローバル人材を育成、輩出

なにもわ筋線整備等で高まる拠点性を活かした
 中核機能の導入で、関西の各都市との
 連携、発展、交流を促進

関西の国際社会での存在感を新たなステージに
 強靱に引き上げる

2. 基盤整備事業概要の費用負担の考え方

公園整備	土地区画整理	新駅整備	鉄道地下化
(みどり化の実現)	(みどり化を実現するため、他の事業にはない制約のなかったものとなる)	(なにもわ筋線具体化の際には広域鉄道ネットワーク計画上の結節機能を有する点を踏まえ)	(地域のまちづくりの基盤となる事業であるため)
府市折半	府市折半 ※保留地処分金を除く	府が応分の負担 ※なにもわ筋線の具体化にあわせ別途協議 ※鉄道事業者負担を除く	市の負担

3. H27年度予算事業内容

- (1) うめきた2期区域まちづくり方策等検討事業 当初予算額 400万円
 (総事業費1,200万円(府:400万円、市等:800万円))
- まちづくりを行う民間事業者の2次公募において、より優秀な提案を得るため、大阪市等と連携して公募要項の作成に向けた検討を実施。
- (2) うめきた地区土地区画整理事業 当初予算額 1,250万円
 (総事業費5,000万円(国:2,500万円、市:1,250万円、府:1,250万円))
- うめきた地区(大阪駅北大深西地区)にかかる土地区画整理事業の調査設計に対し、大阪市への補助を行う。

